

2013年 4月 30日

## プロジェクト報告書

団体名 NPO 法人 ごみ・環境ビジョン21

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

「市民ごみ大学セミナー」と「生ごみリサイクル交流集会 in 多摩」の開催と記録集の作成

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

ごみ減量の実践活動は、市民と行政の「協働」によって大きな効果を発揮することができますが、市民参加のあり方を模索している市民や行政担当者も多く、「更なるごみ減量」のハードルの前で足踏みしている状況があります。

優れた実践活動の事例や考え方を学び、情報を共有することによって、多摩地域全体のレベルアップと、循環型社会実現につなげることを目的に開催するものです。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

「生ごみリサイクル交流集会 in 多摩 2012」を6月に開催し、記録集を10月に発行します。  
「市民ごみ大学セミナー」を、10月と2月に開催し、10月のセミナー記録集を2月に発行します。  
2冊の成果物は多摩地域の自治体や市民団体等に寄贈します。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

「生ごみリサイクル交流集会 in 多摩 2012」は、武蔵野市の後援で武蔵野クリーンセンターを会場に、武蔵野市民で構成する「クリーンむさしのを推進する会」との共催で開催できたので、特に武蔵野市にとっては、その後、生ごみリサイクルの推進のモチベーションアップにつながっているという評価を得ています。10月の「市民ごみ大学セミナー」は多摩地域で関心の深いごみ処理施設の計画をテーマにしたことによって注目を集め、新聞にも取り上げられ、会場が満席になりました。2月開催のセミナーは、放射能汚染という大きな環境問題をテーマに、ツイッターやフェイスブックでも集客に務め、定員を超える参加者とメディアの取材もあって、大きな成果を得ることができました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

関心のあるテーマを取り上げたことと、他団体との共催や実行委員を募集して開催したことによって、いい緊張感を持ちながら取り組めたことがよかったと思います。また、助成金の支援によって、大きいテーマで通常とは違う会場で開催することができ、幅広い層の参加者で大成功でした。終了後も、新たなつながりを得て活動することができました。成果物としての記録集、講演録を自治体や関係団体に寄贈できたことも、今後の活動に大きなプラスになっているものと考えます。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

# 規模縮小が進む ごみ焼却施設

## 東京多摩地域での 建て替え計画

**東**京多摩地域では、自治体・一部事務組合のごみ焼却施設が17施設稼働しています。焼却施設の耐用年数の目安を30年とすると、2012年度時点で、耐用年数がすでに来ているか、5年以内に来る施設が9施設にのぼります。これらの施設は、これから相次いで建て替えが行われることとなります。

**今**回の市民ごみ大学は、この秋から試運転に入る「ふじみ衛生組合」と、これから着工する予定の日野市から建て替え計画を紹介していただき、他の自治体の職員、議員、市民のみなさんの参考にしていただくために企画しました。建て替え計画決定に至るまでの経過、建て替えに当たっての問題点や課題などについても、併せて話していただきます。

三鷹市と調布市で構成するふじみ衛生組合は、2013年度から新たに焼却施設を稼働させます。処理能力は288 t / 日 (144 t / 日 × 2 炉)。現有施設を廃止する三鷹市のごみと、三鷹市や多摩ニュータウン環境組合や民間の施設を利用している調布市のごみを受け入れます。

現有施設を1987年度以来使用している日野市は、2019年度から新施設を稼働させる予定です(築32年で更新)。処理能力は、220 t / 日 (110 t / 日 × 2 炉) から146 t / 日 (73 t / 日 × 2 炉) に。

これらの建て替えでは… ≪ ① できるだけ現有施設の長寿命化を図る ≫ ≪ ② 予備炉をつくらず、規模を縮小する ≫ ≪ ③ 発電設備を備える ≫ といった傾向がうかがわれます。こうした流れが推し進められることを期待したいと思います。

真如苑助成金事業



NPO法人

ごみ・環境ビジョン21

〒185-0012  
国分寺市本町 2-19-9-7  
TEL&FAX 042-328-6621 月・金 (除く祝日) 13:~17時

gomikan@mtf.biglobe.ne.jp  
http://www2u.biglobe.ne.jp/~GOMIKAN/

申込み不要。  
直接会場へおいでください。

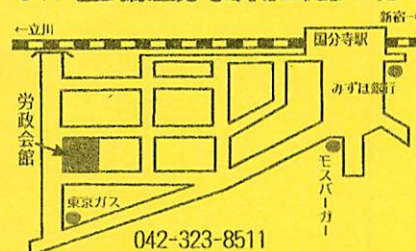
参加費 (資料代)  
会員・学生：500 円  
一般：1000 円

会場

国分寺労政会館

■ 3階・第3会議室

JR・西武線国分寺駅南口徒歩5分



042-323-8511

2012年  
10月開催  
ごみかんの  
市民ごみ大学  
セミナー

10月19日(金)

13時30分~16時30分



発表

■ふじみ衛生組合  
新施設建設準備室長  
荻原 正樹 さん

■日野市 環境共生部  
クリーンセンター長  
ひとし  
土方 一志 さん

2012.6.16 生シナリオ



2013.2.16 福島の畜産

